

生徒による授業評価に対する  
各教科、学年における集計結果の分析と改善点等のまとめについて  
令和元年度

教科名・学年	集計結果の分析と改善点等のまとめ
国語	担当者の情報共有にいっそう努め、生徒の理解度に応じた授業や課題の内容と方法の精査を進める。課題や小テストの実施を通じ、やればできる事を多く体感し、知識の定着や意欲の向上に繋がるよう努めていく。
地歴・公民	教科担当者間で密接な情報共有を図り、教材や授業方法について検討する。特に、生徒の興味関心・理解促進のため、視聴覚教材を取り入れた授業展開を考える。また、学力に応じた課題、ドリル学習等をもって、知識定着と応用力養成に努める。
数学	板書のための授業になるのではなく、話し合いや教え合う機会を積極的に設け、生徒の活動時間を多く授業に取り入れていくことに努める。
理科	理科に対する関心・意欲の低下が懸念されている中、まずは普段の生活で目にする、自然現象に対し、知的好奇心や探究心を持たせる事ができるような授業をしていく。自然に親しみ、疑問や目的意識をもった観察・実験を行い、科学的な思考力が持てるような指導・取り組みをしていく。このような授業を展開していくことで、主体的な学習に取り組む生徒の育成を目標としたい。
保健体育	生徒の学習意欲が育つよう、教員同士の切磋琢磨の中で研鑽を深めていく。生徒自ら考え行動ができ、より良い人間関係構築ができるよう手助けをする。
芸術	生徒が意欲的に取り組み、教師側の熱意が伝わるよう、課題設定や授業の進め方をさらに工夫していきたい。
英語	外部試験を利用しながら、4技能の基礎基本の定着を図る。また生徒の理解に応じた授業を目指し、ICTを用いるなど教材を見やすく工夫していきたい。授業や家庭学習に積極的に取り組むよう指導をしていく。
家庭	衣生活でも食生活でも便利な加工済みの製品があふれ、自分の生活に関する興味関心が薄れているように感じている。生活の成り立ちから展開した授業を研究し、展開していきたい。また、少人数で関われる形式がもてれば、関心が持てると考えている。
情報	社会で用いられ情報システムは、現在、欠かせないものとなっており、その知識と技術の習得は必須となっている。情報の授業では、身近なものとなるように工夫していきたい。パソコン教室で、スクリーンに投影された字が小さくて見えないという意見があり、拡大して写す等の対応をしていきたい。
1 学年	今回あげてもらった生徒の意見に謙虚に耳を傾け、教員自ら進んで研修・研鑽に励み、授業力・指導力の向上をめざして引き続き取り組んでいきたい。
2 学年	基本的な生活習慣と家庭での学習習慣を定着・継続させるよう、引き続き取り組んでいきたい。
3 学年	生徒が希望する進路の実現にむけて適切な講座編成に関わる教育課程の見直しを含め、授業、補習授業、面談指導等のより一層の充実を図りたい。